



ふたごの兄弟の物語<上><下>

ドラフト作 西村由美訳 岩波書店

昔、バビナ国にふたごの兄弟、ラウレンゾーとジャコモが生まれました。二人は「二しずくの水」のようにそっくりで、いつもいっしょでした。大きくなり、ラウレンゾーは憧れの貴金属細工師になりましたが、冒険に満ちた仕事でした。ジャコモは、泥棒の弟子になってしまったのです。盗みの疑いをかけられたり、よその国で王さまにさせられたり…。二人はうりふたつであることを利用してたくさんの冒険を乗り越えます。やがて、二人はそれぞれの道をみつけていきます。

